

第69期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り誠に有難く心から厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成29年9月30日をもって、第69期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の上半期を終了いたしましたので、ここに営業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費や設備投資にも緩やかな持ち直しの動きがみられるなど、回復基調が持続いたしました。しかしながら世界経済の不確実性の増大に加え、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社の主力事業が属する石油業界においては、国内販売はエコカーの普及や節約志向の定着によるガソリン等の構造的な需要減により、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、当社に関しましては、組織並びに管理体制の見直しや環境に応じた戦略とCS活動を重視した取組により、販売数量と口銭の確保を至上命題として油外販売の増強に積極的に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の売上高は15億6百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は18百万円（前年同四半期比32.4%減）、経常利益は15百万円（前年同四半期比68.5%増）、四半期純利益は6百万円（前年同四半期比16.5%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、つぎのとおりであります。

SS事業部に於けるガソリンを中心とした燃料販売は、2017年度第2四半期に入りまして原油コストの上昇により徐々に市況価格は上昇していますが、燃料油の販売量は、エコカーの普及や消費者の買い控えにより減少しております。しかしながら当社は全社的なCS活動の取り組みにより前年を上回る販売実績を残すことに加え、引続き油外商品販売の強化に取り組み、収益の確保に努めてまいりました。特に当社の強みである「洗車」「車検」「レンタカー」「钣金・リペア」のさらなる強化を目指し、積極的に取り組みました。

石油商事部につきましては、燃料油の仕入価格および販売価格が上昇してきましたが、お客様への一層のサービス向上に努めた結果、販売量は前年同期に比べ向上いたしました。

これらの結果、石油事業全般におきましては、売上高10億53百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益19百万円（前年

同四半期比 90.7%増) となりました。

専門店事業であるサイクルショップ「コギー」におきましては、自転車業界での市場動向が厳しさを増す中、「競合店との差別化と足元商圈固め」をキーワードにマーケティングを重視し、各店舗でコンセプトおよびマーチャンダイジングの確立に努めております。当第2四半期の営業活動といたしましては、8月中旬以降の天候不順による来客数の減少に苦しめられましたが、在庫リスクの低減をキーワードに早期在庫処分に着手し、価値訴求と価格訴求により、集客の最大化と購買促進を喚起し、売上の増加に努めました。さらにスタッフの技術力の向上に取り組み、品質の向上に努め、メンテナンスの獲得も注力しました。また、9月29日に新たにトリエ京王調布店がオープンし、コギー店舗も東京・神奈川・埼玉に11店舗を運営する体制となりました。集客面では、ホームページ上に商品のラインナップ情報やブログ案内、店舗アプリの導入などお得な商品情報の配信などによる集客活動を積極的に行っております。

これらの結果、専門店事業におきましては、売上高3億77百万円(前年同四半期比 3.2%減)、営業利益15百万円(前年同四半期比 34.2%減)となりました。

今後につきましてもサイクルショップ「コギー」・「c o g g e y」の認知性を高めながら、CS活動並びに、施策の精度を高め、売上と利益の拡大に努めてまいります。

不動産事業におきましては巣鴨ダイヤビル及び川口ダイヤピアともに、引続き満室となっており、安定した家賃収入を得ております。また、昨年11月から新規開始しましたトランクルームの運営に関しましてはフル稼働まではいたっておりませんが、計画を上回る契約状況であります。

その結果、売上高75百万円(前年同四半期比 0.9%減)、営業利益41百万円(前年同四半期比 0.8%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、石油事業における適正マージンの確保や油外粗利の増強を目指し、専門店事業につきましても引き続き顧客ニーズに合った販売戦略を継続してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長 阿部 匡

中間貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	517,345	流 動 負 債	618,382
現金及び預金	113,830	買 掛 金	166,981
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	211,540	短 期 借 入 金	310,000
商 品	164,622	一年以内返済予定長期借入金	40,944
繰延税金資産	4,274	未払法人税等	4,198
その他の流動資産	25,118	修繕引当金	3,600
貸倒引当金	△2,040	その他の流動負債	92,659
固 定 資 産	1,398,499	固 定 負 債	645,211
有形固定資産	1,283,209	長 期 借 入 金	232,500
建 物	219,466	長期預り保証金	79,505
土 地	1,041,133	繰延税金負債	8,347
その他の有形固定資産	22,609	再評価に係る繰延税金負債	195,644
無形固定資産	2,135	厚生年金基金解散損失引当金	123,639
投資その他の資産	113,154	その他の固定負債	5,574
差入保証金	76,155	負 債 合 計	1,263,594
その他投資	74,451	純 資 産 の 部	
貸倒引当金	△37,453	株 主 資 本	335,582
		資 本 金	90,000
		資 本 剰 余 金	276,439
		利 益 剰 余 金	57,712
		自 己 株 式	△88,569
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	316,668
		土 地 再 評 価 差 額 金	316,668
		純 資 産 合 計	652,250
資 産 合 計	1,915,844	負 債 及 び 純 資 産 合 計	1,915,844

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		1,506,318
売 上 原 価		1,093,912
売 上 総 利 益		412,406
販売費及び一般管理費		394,149
営 業 利 益		18,256
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	2	
受 取 配 当 金	168	
仕 入 割 引	89	
受 取 保 険 金	460	
その他の営業外収益	319	1,039
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	2,066	
支 払 手 数 料	1,500	
その他の営業外費用	65	3,632
経 常 利 益		15,663
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	0	0
税 引 前 中 間 純 利 益		15,663
法人税、住民税及び事業税	4,198	
法 人 税 等 調 整 額	5,292	9,491
中 間 純 利 益		6,172

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金			利益剰余金
		資本準備金	そ の 他 資本剰余金	資本剰余金 合計	そ の 他 利益剰余金 繰越利益 剰余金
平成29年4月1日残高	90,000	24,790	251,649	276,439	58,748
中間期変動額					
剰余金の配当					△7,209
中間純利益					6,172
中間期変動額合計					△1,036
平成29年9月30日残高	90,000	24,790	251,649	276,439	57,712

	株 主 資 本		評価・換算 差 額 等	純資産 合 計
	自己株式	株主資本 合 計	土地再評価 差 額 金	
平成29年4月1日残高	△88,569	336,618	316,668	653,286
中間期変動額				
剰余金の配当		△7,209		△7,209
中間純利益		6,172		6,172
中間期変動額合計		△1,036		△1,036
平成29年9月30日残高	△88,569	335,582	316,668	652,250

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (平成29年11月30日現在)

会 社 名	ダイヤ通商株式会社
本 社	〒170-0002 東京都豊島区巣鴨一丁目11番1号 巣鴨ダイヤビル3階
資 本 金	90,000,000円
発行済株式の総数	822,200株
主要な事業内容	サービスステーション 8店 サイクルショップ「コギー」 11店 石油製品の卸および直販などの経営

取締役および監査役 (平成29年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役)	阿 部 匡	常勤監査役	菊 池 新 治
取締役会長	北 野 稔	監 査 役	伊 伏 正 貴
取 締 役	小 林 茂 和	監 査 役	小 林 由 紀
取 締 役	辻 角 智 之		

店舗のご案内 (平成29年11月30日現在)

サービスステーション

東京都 巢鴨 SS

湯島 SS

佃大橋 SS

日野万願寺 SS

SS ヨンク大塚

埼玉県 SS ヨンク和光

入間大井 SS

神奈川県 ヨンク菅馬場店

COFFEY

東京都 ららぼーと豊洲店

トリエ京王調布店

埼玉県 コーンシティさいたま新都心店

神奈川県 たまプラーザ店

金沢文庫店

ららぼーと横浜店

辻堂駅前店

藤沢店

戸塚駅前店

川崎ルフロン店

青葉台店

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金支払株主確定日	期末配当……………毎年3月31日 中間配当を行う場合は毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法によります。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031（通話料無料）
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（通話料無料） 郵送先〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(お知らせ)

- 株式に関するお手続きについて
株式に関するお手続き（届出住所／姓名などの変更、配当金の振込方法／振込先の変更など）につきましては、お取り引きされている証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座について
株券電子化の施行日（2009年1月5日）以前に証券保管振替機構を利用されていない株主様の所有株式は、特別口座で管理されております。
特別口座で管理されている株式に関する各お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行の連絡先へお問い合わせください。